

「リサイクルステーション 浜松市西部清掃工場 えこはま」 開催報告

整理番号:20171112

イベント名	家庭ごみ「分ければ資源」古紙分別回収隊
-------	---------------------

実施内容	
活動日時	平成29年11月12日(日) 9:00~12:00 晴
活動場所	浜松市西部清掃工場 (浜松市西区篠原町26098-1)
活動者	6名
詳細	リユース市「もったいない市」との同時開催です。 回収品目は、新聞・折込チラシ、本・雑誌・雑がみ、段ボールの回収と「正しい古紙の出し方」や古紙のリサイクルを啓発。 啓発用配布物:雑がみ回収袋、雑がみ啓発クリアファイル、家康くん雑がみ啓発マグネット、清掃工場「資源物回収集積コーナー」チラシ

事業の様子と成果	<p>来場者数:712名、利用者:100名 回収量:220kg 詳細:新聞 100kg(45%)、本・雑誌 10kg(5%)、雑がみ 60kg(27%)、段ボール 50kg(23%)</p> <p>回収総量 10月比 50kg減。本・雑誌の持込量が減っていました。 食器市と同時開催時は、いずれも新聞紙、段ボールの持込が多く全体の約6割を占めます。しかし、本・雑誌の量は、極端に減ります。 トイレトペーパーの芯のみを大量に持参した方や軽トラックで新聞・雑誌を持参した人もいました。 新聞は、持込食器の緩衝材として使用されているため、添付写真のような状況です。 イベントごみとはならず、資源としてリサイクルが出来ました。</p>
----------	---

改善	収集・運搬を考えて来年度以降は、軽トラックを準備し直接回収品を車の荷台に乗せる事で、多くの古紙を回収できます。
----	---

記録添付

